

黒川商工会景況調査報告書

組織番号	0 1 9
商工会名	黒川商工会
報告者名	平井 清彦

1. 調査要領

(1) 調査対象

ア 対象地区 黒川商工会地区内小規模事業者
イ 調査企業数 21 事業所 (うち小規模事業者数 20 事業所)
ウ 回答企業数 21 事業所 (うち小規模事業者数 20 事業所)
(回答率 100.0%)

(2) 調査対象期間

平成28年7月～平成28年12月
(調査時点 平成28年12月1日)

(3) 調査方法

経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

(4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	1	4.8%	1	4.8%
建設業	11	52.4%	11	52.4%
卸・小売業	5	23.8%	5	23.8%
サービス業	4	19.0%	4	19.0%
合計	21	100.0%	21	100.0%

2. 地域内産業全体の景況概要

地区内景況のコメントする

地区内最近の傾向として、あまり景気が良いとは決して言えない。業種によって良業種もあるが、ほんの僅かである。また、プレミアム商品券発行事業期間中は売上増になることもあるが、反動で期間が終わると元に戻る。

【後継者の状況】

後継者状況をコメントする

従業員のいる企業のほとんどが後継者ありと答えた。

後継者 あり	11事業所	52.4%
後継者 なし	10事業所	47.6%

【売上高】

地区内事業者の売上に関するコメントする

どの業種をとっても売上が不変である。
増加と答えた業種でも半年後には減少となりえる現状。

前年同期比

増加	不変	減少
4	9	8

前期比

増加	不変	減少
4	10	7

今後の見通し

増加	不変	減少
3	12	6

【採算】

地区内事業者の採算性についてコメントする

小売業者が採算性は不変若しくは悪化と回答した。

前年同期比

好転	不変	悪化
4	9	8

前期比

好転	不変	悪化
4	11	6

今後の見通し

好転	不変	悪化
3	11	7

【仕入単価】

地区内事業者の仕入状況をコメントする

どの業種も売上が増にならないが、仕入単価が上がってきている。と回答。

前年同期比

上昇	不変	低下
5	11	4

前期比

上昇	不変	低下
4	13	3

今後の見通し

上昇	不変	低下
3	14	3

【販売（客）単価】

地区内事業者の客単価等をコメントする

地区内は高齢者の割合が多く、年金収入の減少による買い控えがあり、客単価減につながっていると思う。

前年同期比

上昇	不変	低下
0	13	8

前期比

上昇	不変	低下
1	14	6

今後の見通し

上昇	不変	低下
0	16	5

【資金繰り】

地区内事業者の資金繰り状況についてコメントする。
採算が悪化傾向にあるため、資金繰りも悪化と回答している事業所が多い。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
3	13	5	4	12	5	3	11	7

【雇用動向】

地区内の雇用動向をコメントする
売上も現状維持若しくは減となっている現状で、雇用は大変きびしい状況といえる。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
1	17	2	0	18	2	1	18	1

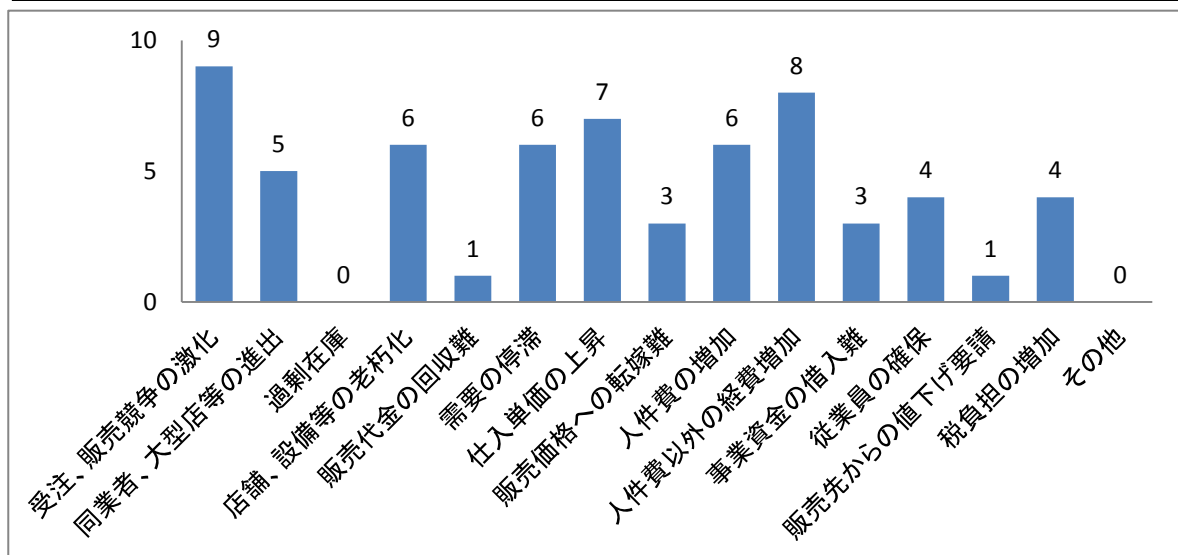
【景況判断】

地区内の景況判断についてコメントする
今期の景況を前年度同期と比べ概ね横ばいと示した。前期比較では多少回復し業種が見受けられたが、来期の見通しはと尋ねると、半数以上が不変若しくは悪化と予測している。回復感の欠ける結果となった。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
3	9	9	3	10	8	3	11	7

【経営上の問題点】

地区内事業者の経営上の問題点についてコメントする
地区内小さな店舗が多くあるが、隣には大型店があり、売上がなお落込み加えて仕入単価の上昇やその他経費の増加により採算を悪化させている。消費高高齢化や今後の見通しも悪化傾向でさらに苦しくなる状況である。



3. 産業別景況概要

(1) 製造業

地区内製造業に係る景況状況をコメントする

地区内製造業者は少ない。仕入先の見直しや、新規売上先への営業活動が必要と考える。

(2) 建設業

地区内建設業に係る景況状況をコメントする

地区内、公共事業も少なく、今後きびしい状況が続くと思われるが、その中でも市のリフォーム補助金、プレミアム建設工事券など有効に活用する市民への営業活動が必要と考える。

(3) 卸・小売業

地区内卸、小売業に係る景況状況をコメントする

客の買い控えがあるようにも思えるが、客の心理をつかむ売出しの方法を検討した方が良いと考える。

また、経営者の高齢化も今後の問題となる。

(4) サービス業

地区内サービス業等に係る景況状況をコメントする

顧客のニーズを把握し、独自のサービスの工夫を考える必要がある。

観光面では、各団体から様々なアイデアが出ているようなので、情報を収集し事業に結びつければと考える。

(様式③)

No.

景況調査ヒアリングシート（平成28年度）

調査対象期間 平成28年7月～12月

（調査時点 平成28年12月1日）

商工会名		商工会	担当職員名
企業の概要	業種	1：製造 2：建設 3：卸・小売業 4：サービス他	
	従業員数	1：0人 2：1人～2人 3：3人～5人 4：6人～20人 5：20人超	
	企業区分	1：小規模事業者 2：小規模事業者以外	
	後継者の有無	1：有 2：無	

（1）貴社の状況についてお答えください。（該当する番号に○を付してください。）

	前年同期（H27年7～12月）と比較して	前期（H28年1月～6月）と比較して	今期（H28年7～12月）と比較した来期（H29年1～6月）の見通し
売上	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少
採算（経常利益）	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
仕入単価	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下
販売（客）単価	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下
資金繰り	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
雇用動向	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少
景況判断	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化

（2）貴社の経営上の問題点（下記より上位3つまでを選び、○を付してください。）

- ①受注、販売競争の激化 ②同業者、大型店等の進出 ③過剰在庫
④店舗、設備等の老朽化 ⑤販売代金の回収難 ⑥需要の停滞
⑦仕入単価の上昇 ⑧販売価格への転嫁難 ⑨人件費の増加
⑩人件費以外の経費増加 ⑪事業資金の借入難 ⑫従業員の確保
⑬販売先からの値下げ要請 ⑭税負担の増加
⑮その他（ ）

（3）今後の事業・経営において強化したい点（設備投資・販路開拓等）

--